



# 噴井



《噴井》

画:小林功氏

北ノ窪子ども風土記

令和8年3月10日

小田原市立富水小学校

校長 鈴木 一彦

令和7年度もいよいよまとめの時期を迎えました。子どもたちの様子については、これまで学級だよりやホームページなどを通して、日々のがんばりをタイムリーにお伝えしてまいりました。今年度は特に、子どもたちが地域で学び、地域に発信する機会が多く見られ、さまざまな活動に励む中で大きな成長を感じる一年となりました。

## 6年生を送る会を終えて

先日、全校児童で「6年生を送る会」を行いました。今年度はインフルエンザの猛威により、当初予定していた2月18日から27日へと延期しての実施となりましたが、その分、子どもたちは準備にさらに気持ちを込め、よりよい会にしようと力を合わせて取り組んできました。

当日の出し物では、どの学年も6年生への感謝と憧れの気持ちがあふれ、1年生、2年生のかわいらしい歌や言葉、3年生、4年生の工夫を凝らした出し物など、それぞれの学年らしさが光る温かな場面が続きました。準備してきた気持ちがしっかりと伝わり、6年生も笑顔で応えてくれました。

また、5年生は進行役として会全体を支え、当日までの準備や終了後の片づけまで、どの場面でも落ちついて責任を果たす姿が見られました。最上級生となる来年度に向けての頼もしさを強く感じる、印象深い会となりました。

最上級生として一年間学校を引っ張ってくれた6年生の姿は、在校生にとって学びとなり、憧れとなっています。心温まる時間を全校で共有し、児童一人ひとりの成長を改めて感じるひとときとなりました。





## ■ ボランティアの皆様への感謝

本年度も、多くのボランティアの皆様を支えていただきました。見守りボランティア、読み聞かせボランティア、スクールボランティア（校外学習引率、花壇、ミシン・調理など）、生け花ボランティア、環境整備など、多方面にわたりご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

年度末にはちょハボラの方による校内の木質化に伴う“すのこ”作りでは、丁寧な手作業によって安全で温かみのある環境が整いました。これにより、今回の木質化がここで終了し、子どもたちも心地よい学習環境の中で過ごすことができます。改めて御礼申し上げます。



2月27日 感謝の会

## ■ 来年度に向けて

保護者の皆様にご協力いただいた「学校評価アンケート」では、日頃の教育活動に対する多くの励ましのお言葉をいただきました。また、改善点についてのご意見は、次年度の学校運営にしっかりと反映してまいります。

さらに、2月25日には学校運営協議会においても、今年度の取り組みを丁寧に振り返り、次年度の方針について熟議を重ねています。引き続き、地域とともにある学校づくりを推進してまいります。

## ■ 来年度の教育課程について ～「教育課程柔軟化サキドリ研究」の実施校として～

来年度、本校は文部科学省による「教育課程柔軟化サキドリ研究」の実施校として、多様な個性や特性、背景をもつ子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすため、より柔軟な教育課程の編成に取り組む予定です。

この研究では、子どもたちの実態に応じて全体の標準時間数を確保しつつ、教科ごとの標準時数を調整し、生み出した時間を他教科や学校の裁量的な学習の時間に充てることが可能とされています。これにより、学び方や時間割を固定的なものにとせず、子どもたちの興味・関心に合わせた学び、探究的な学び、地域と連携した体験的な学習など、教育活動をより自由に設計できるようになります。

本校は日頃から「40分授業・午前中5時間制」を取り入れており、時間の構成に柔軟性があるため、この研究の趣旨に合致し実施しやすい特徴があります。こうした学校としての基盤が評価され、今回、研究校の一つとして指定を受けたものです。前述の学校評価アンケートのご意見も踏まえ、日課表についても改定してまいります。

今後も、本校の教育環境や子どもたちの実情に合った形で教育課程の工夫を重ね、よりよい学びを生み出していきたいと考えております。研究の本校の具体的な内容につきましては、今後、具体の説明資料や年度初めの学級懇談会等で改めてお知らせいたします。

保護者の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。